



3分でのぞく
不思議・謎・怪奇

死後の世界を見た!?

文：藤田晋一

不思議なできごととは、なんでもない日常の中で、とつぜん起こるものです。

急に目の前の地面が盛り上がって、見たこともない生物が出てくる……。

昨日見た夢とまったく同じ一日が始まる……。

風のない夕ぐれ時に、だれもない公園でブランコが大きくゆれる……。

その正体や原因を明らかにできなければ、それを見ていない人は、とうてい信じてはくれないでしょう。

では、証明できないことは事実ではないのでしょうか？ 証拠がなければ、

それはなかったことにされてしまうのでしょうか？

この本では、そうした“今はまだ証明できない話”を、世界中から集めました。

真実か偽りか……それを判断するのは、読者であるあなたです。

もくじ

巨大なキリストが降臨 きよだいこうりん	146	とつぜん異世界とつながった家 いせかい	006
悪魔ばらいにご用心 あくま	136	墓地の紳士のひみつ ぼちしんし	016
呪われた絵 のろ	109	死んだはずなのに.....	025
アメリカ軍の極秘作戦 ぐんごくひさくせん	102	月の先住民 せんじゅうみん	032
天然痘ウイルス てんねんどう	094	息子にせまる老婆 むすころうば	036
死体農場.....	087	死後の世界を見た!?!.....	046
窓の外に現れたのは..... まどあらかわ	080	未確認生物ネッシー みかくにん	072

とつぜん異世界とつながった家

人間が住んでいる世界と、そことは異なる世界との入り口は、とつぜんぽっかりとつながることがあるようです。

これは、イギリスのウェールズ西部のカーマーゼンシャー州アンマンフォー
ドのある家で起こったできごとです。この家には、アラン・クリスティーン夫
妻が住んでいました。

ある日の夜のこと。クリスティーンが脱衣所で洗濯機を回していたところ、
浴室から奇妙な物音が聞こえました。

「ギャー、ウォーン、ウォーン」

それは、動物が鳴いているような、子どもが泣いているような、これまでに
聞いたことのない音です。気味がわるくなったクリスティーンは、夫のアラン
を呼びました。

「あなたきて、何か変な音が聞こえるのよ！」

妻のさけび声におどろいたアランがかけつけました。

窓^{まど}の外^{あらか}に現れたのは……

これは、ある学校に勤める司書教諭^{ししょきょうゆ}の先生が、海外のインターネット掲示板^{けいじばん}に投稿した話です。

ある夏の夕方、先生はいつものように学校図書館で仕事をしていました。
その日の学校図書館には、入学したばかりの一年生が二十人近くいました。

小学生になって間もない子どもたちは、図書館の中を、まるで校庭や体育館とかんちがいしているかのように、走り回っていました。先生はうんざりしながら、何度目かの注意をしました。

「あなたたち、何度言ったらわかるの。本当に静かにしてちょうだい。ここは本を読む場所なの。ねえ、聞いているの」
けれども、だれも返事をしません。みんなはその場で立ち止まり、だまりこんで、ぼうつと外を見つめています。

「聞いているの。ねえ、こら」

先生は、もう一度注意をしました。すると、子どもたちが、だまっただまま外

を指さすのです。

「なんなのよ。もう」

先生は、おこりながら、子どもたちが指さすほうに目をやりました。

「え？ 何よあれ？」

その生き物は、となりの屋根の上に、二本足ですっくりと立っていました。

全身が真っ黒……というより、[〃]無[〃]や、暗黒を思わせる皮ふをしています。

そして、皮ふの表面からは、にろ^ろにろとした手のようなものが何本も出て、^{ぶきみ}不気味にうごめいているのです。

子どもたちは、声を出さずに、口をあんぐりと開けたままです。先生も、

